

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	5155	(H.24)No.	1057
-----------	------	-----------	------

事務事業名	子ども支援センター費		
担当部局名	子ども部	担当室名	子ども家庭室
		室長名	田中 康生

会計区分	一般会計	事業コード	192501
		(中事業名)	予算書事業名
款	民生費		子ども支援センター費
項	児童福祉費		(小事業名)
目	児童福祉総務費		子ども支援センター費

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	1	互いに認めあい支えあう、健康で安心できる暮らし
	基本政策	5	自立を支える地域福祉の充実
	施策	3	子育て・子ども支援
	小施策	3	地域における子育て支援の充実
重点施策コード			

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)	子育て支援の拠点施設として、親子が出会いを通して交流しあえる場、子ども同士が育ちあえる場、市民の子育て参加の場を提供し、子育て中の親への支援を図る。
事業内容	名張市子ども支援センターかがやきの運営管理 施設の運営に当たっては、運営委員会において協議し、子育て支援に関する各種相談事業や研修会を開催するとともに、親子が交流できる場を提供しています。 主な事業 ・広場事業 ・子育て講座、講演会の開催 ・相談事業 ・一時預かり事業調整 ・子育てに関わる情報発信等 ・子育てサークル等の育成支援活動

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	<ul style="list-style-type: none"> 総来館者数30,184人 かがやきフェスタ参加者:458人(155組) 身体計測1,008件 健康相談93件 歯科相談117件 子育て相談457件 	<ul style="list-style-type: none"> 総来館者数30,250人 かがやきフェスタ参加者:470人 身体計測960件 健康相談105件 歯科相談130件 子育て相談30件 	名張市子ども支援センターかがやきの運営管理	名張市子ども支援センターかがやきの運営管理	名張市子ども支援センターかがやきの運営管理

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	3,478千円	2,869千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円
内訳(千円)					
国・県支出金	1,442	1,434	1,500	1,500	1,500
地方債					
その他()					
一般財源	(0) 2,036	1,435	1,500	1,500	1,500
人工数					
職員	2.11人	2.51人	2.51人	2.51人	2.51人
臨時職員等	2.39人	1.97人	1.97人	1.97人	1.97人
概算人件費	(0千円) 20,310千円	22,676千円	22,676千円	22,676千円	22,676千円
+ 総事業費	(0千円) 23,788千円	25,545千円	25,676千円	25,676千円	25,676千円

4. 担当室による事務事業の点検 (*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
様々な事業を実施するにはできる限りボランティアの協力を経て、来館者や相談者が増えてきている。地域の広場への協力要請が増えたり、父親の子育てへの参画が積極的になってきている。来館者も自ら活動を企画に参画する回数が増えている。	子育て講座・講演会・相談事業を開催しているが、より興味をもって参加できるように保護者のニーズに沿った内容を検討していきます。ボランティアの育成と協力が必要であり充実させていきます。各関係機関との連携を強化し、それぞれの役割の整合性を図ることが必要です。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	安心して産み育てることのできる子育て環境を整え、子育て・子ども支援の充実に取り組んでいます。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 検討している・今後可能性がある(検討内容を記載)	地域の広場事業への積極的な参画と各地域の主任児童委員・民生児童委員・まちの保健室関係者との連携を図りながら取り組みます。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 次世代育成支援行動計画
できる限りボランティアの協力を得て、来館者や相談者が増えつつある状況を踏まえ、様々な事業を展開していく。子育ての不安などを少しでも軽減でき、少子化への歯止めがかかるような目的を持ち、支援の中核的な役割を果たすよう事業を継続していく必要がある。	